

立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター 公開講演会

名探偵・明智小五郎と女怪盗・黒蜥蜴の対決を描いた江戸川乱歩の代表作『黒蜥蜴』（1934年発表）は、小説にとどまらず、舞台、映画、テレビドラマ、漫画などさまざまな形で親しまれてきました。本講演会では、2026年の宝塚歌劇宙組公演を題材として、潤色・演出を担当した生田大和氏に舞台づくりの裏側をうかがいます。原作との違いや見どころ、宝塚歌劇ならではの演出や表現の魅力を通して、『黒蜥蜴』が時代を超えて愛され続ける理由や、その多彩な魅力に迫ります。

日時：2026年8月8日(土) 14:00～15:30 (開場13:30)

会場：立教大学池袋キャンパス
14号館2階 D201教室 (東京都豊島区西池袋3-34-1)

定員：250名 (申込順)

申込：Google フォームより事前申込
(2026年7月31日(金)締切)
<https://forms.gle/KCBhqxxRBMkkS5zK7>



参加
無料



講師 生田 大和 氏 (宝塚歌劇団 演出家)

聞き手 川崎 賢子 氏 (文芸・演劇評論家)

〈お問い合わせ〉

立教大学 江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

E-mail: rampo@rikkyo.ac.jp

Tel: 03-3985-4641

※当日、池袋キャンパス内にある旧江戸川乱歩邸を 10:30-17:00 まで特別開館いたします。

『黒蜥蜴』

くろとかげ

舞台化をめぐる

宝塚歌劇における乱歩作品の再創造